

課題研究連携授業・コラボレーション授業 コンセプトシート

どちらかまたは両方に○					
○	課題研究連携授業			コラボレーション授業	
教科	数学	科目	数学 B・理数数学 II		
学年	2年	学科	普通科・探究科	講座・コース	
単元・テーマ	統計学「統計の気持ち」				
授業概要	データの分析や確率統計で、学んだデータの散らばりを表す標準偏差や分散の意味を理解する。 授業やテストでは計算をしておしまだったが、計算して出てきた値の意味を知り、データを分析する際に役立てられるようになる。				
探究活動ルーブリックとの対応（該当項目に○）					
	1. 課題発見力	自分なりの問題意識に根差した課題を発見することができる力			
	2. 課題設定力	目的を達成するためにはどのような情報が必要か認識できる力			
○	3. 情報活用力	多面的で多くの情報を適切な方法で取得し、整理、比較し、差の有無や内容の正しさが判断できる力			
	4. 協働力	チームで協力して様々な視点からの発想や意見を調整する力			
	5. 情報発信力	適切な表現方法を用いて発表できる力			
授業展開				生徒の活動	
<p>平均値からわかることとわからないことを確認。</p> <p>データの散らばり方、分布の仕方がわからないことから標準偏差や分散といった値が使えることを確認。</p> <p>平均値±標準偏差ぐらいのデータが多くなることを分布から理解する。</p> <p>偏差値が平均を 50、標準偏差を 10 となるように計算されていることを知り、偏差値の意味と見方を理解する。</p> <p>○×のアンケートに答え、丸の数を集計し、授業を受けた集団の中での自分の偏差値を求める。</p> <p>自分が平均からどれほど離れているのか、離れていないのかを考える。</p> <p>授業で学んだことや考えたこと、これからどのように使えそうかをまとめて終了。</p>				<p>プリントを見ながら授業を聞く</p> <p>アンケートに答え、偏差値を求める。</p> <p>まとめをする。</p>	
備考					
参考文献 小島寛之.「完全独習 統計学入門」.ダイヤモンド社.2006 年, 208 ページ					